



一般社団法人

千葉県

# 作業療法士会

ニ ュ ー ス



## 注目記事

- ・ 巻頭言 : 令和8年度、県士会はどこへ向かうのか
- ・ 学生奨励賞 : 未来のOTたちが語る、これからの一歩
- ・ 臨時総会議事要旨 : 会員に知ってほしい、総会で話し合われたこと

Vol.100の今号は、学会報告・制度情報・委員会活動も充実。

## 令和8年度 活動開始のご挨拶

一般社団法人 千葉県作業療法士会 会長 松尾真輔

会員の皆さまにおかれましては、日頃より千葉県作業療法士会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本会は令和8年6月より新たな体制を迎える予定です。昨年末に行われた次期代議員選挙をはじめ、役員選挙を経て、6月の総会・理事会において新しい役員体制がスタートする運びとなっています。この新体制への移行は、本会のこれからの歩みを考えるうえで大切な節目であり、会員の皆さまの思いが運営に反映されていく大切な機会でもあります。

特に若い世代の皆さまには、本会の活動や運営に少しでも関心を持ち、関わっていただけましたら嬉しく思います。会員お一人おひとりの声や行動が、作業療法や本会の未来を形づくり、専門職としての可能性を広げるとともに、地域や社会からの期待に応えていく力につながっていくものと感じております。

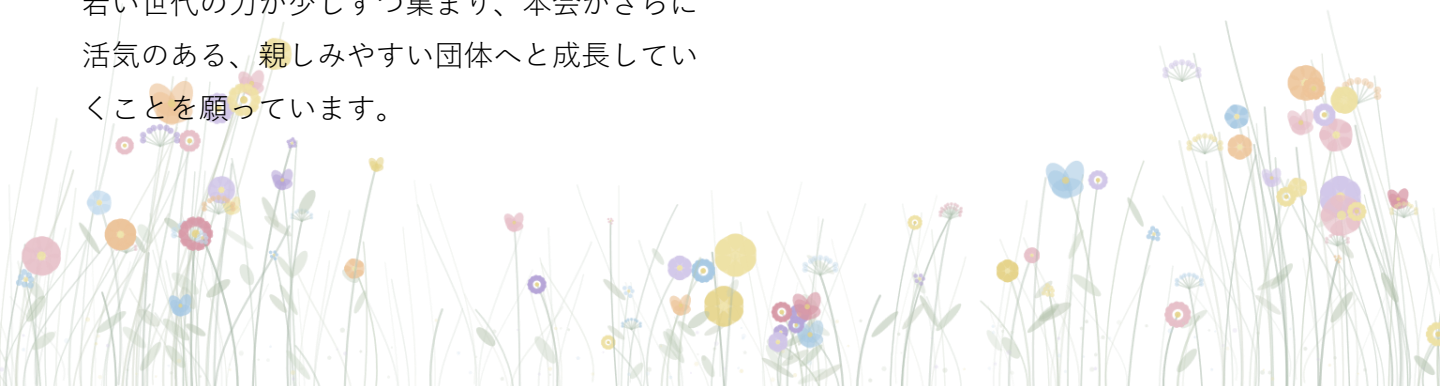
また本年度は、組織体制の見直しに合わせた新たな取り組みとして、学生会員制度を現在整備しています。養成校に在籍する学生の皆さんを対象に、在学中から臨床現場とのつながりや学び、体験の機会を持っていただくことを目的とした新しい会員制度（賛助会員C会員）です。若い世代の力が少しずつ集まり、本会がさらに活気のある、親しみやすい団体へと成長していくことを願っています。

本会ではこれからも、「会員一人ひとりが専門職として誇りを持ち、県民の皆さまの健康や生活の質の向上に貢献すること」を大切にしながら、



学術活動の推進や研修事業の充実、地域・行政・関係団体との連携強化に取り組んでまいります。また、若手からベテランまで、どの世代の会員の皆さまにも参加しやすく、つながりを感じていただける会の運営を目指してまいります。本年度もさまざまな課題はありますが、会員の皆さまと力を合わせ、少しずつでも前に進んでいきたいと考えております。今後とも、千葉県作業療法士会の活動に変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご活躍、そして千葉県における作業療法のさらなる発展を心より祈念し、新年度のあいさつといたします。





# 学生奨励賞 受賞者コメント紹介

..... 未来の作業療法を担う皆さんへ .....

## 奨励賞とは？

千葉県作業療法士会奨励賞は、県内養成校の卒業年次学生を対象に、学業や士会活動への参加意欲などを基準に、今後の県内での活躍への期待を込めて贈られる賞です。今年度は県内8校より各1名が推薦されました。受賞された皆さんのこれからの歩みを、心より応援しています。

### 熊沢 綾乃 さん

千葉県立保健医療大学

奨励賞の受賞を励みに、大学での学修で得た知識と経験を活かし、対象者の生活背景を重視した支援に取り組んでいきたいと考えています。先輩作業療法士や周囲の専門職から学ぶ姿勢を大切にし、誠実に臨床に向き合いながら、自己研鑽を重ね、多職種と連携し、千葉県の医療・福祉に貢献できる作業療法士を目指します。

### 林 彩乃 さん

国際医療福祉大学

私は作業療法士として、患者様の心に寄り添い、生きがいを共に考えていける存在になりたいと考えています。患者様一人ひとりの生活背景や価値観を尊重し、その人に合った生活を支援していきたいです。また、先輩方から多くのことを学びながら、丁寧なコミュニケーションを大切にし、成長していきたいと思います。

### 神子 千春 さん

千葉医療福祉専門学校

この度は奨励賞をいただき、大変光栄に存じます。これからは、患者様一人ひとりと丁寧に向き合い、信頼される作業療法士を目指して、日々の業務の中で着実に知識と経験を積み重ねていきたいと考えています。また、自分なりの作業療法のあり方を見つけていけるよう、多角的な視点を意識し一歩ずつ努力していこうと思います。

### 深井 瑠空さん

八千代リハビリテーション学院

この度は奨励賞をいただき、大変光栄に思います。三年間お世話になりました学校の先生方や、臨床実習でご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。今後、作業療法士として働いていく中で、幅広い領域に関心を持ち、学び続ける姿勢を忘れず、患者様の笑顔や生活を支えられる存在になれるよう努めて参ります。

### 蓮實 日菜 さん

千葉・柏リハビリテーション学院

作業療法士として初めて現場に出るにあたり、実習とは異なる緊張感、責任、チームワーク等様々なことへの不安でいっぱいです。周囲への礼節を大切にし、目の前の課題へ真摯に一つずつ取り組むことで、患者様やスタッフの皆様から信頼していただける作業療法士になれるよう、努力してまいります。

### 富澤 里咲 さん

植草学園大学

この度は貴重な賞を賜り、誠にありがとうございます。臨床では、今までとはまた違う世界が見えてくると考えています。そのような現場でも患者様のその人らしさを尊重していきたいと思っております。患者様一人ひとりの『自分らしい生活』の実現を可能にする為にも、またこの賞の期待に応える為にも精一杯精進して参ります。

### 澤田石 莉菜 さん

学校法人帝京平成大学

春から憧れの作業療法士として働くことが決まり、嬉しい気持ちと私が患者様の生活をより良く出来る作業療法士になれるのかという不安もあります。まずは、当たり前のことかもしれませんが、患者様や医療従事者の方々に挨拶を行い、臨床で先輩からの様々な指導・技術を勉強し吸収していきたいと考えています。

### 土橋 大和 さん

国際医療福祉専門学校

このたびは奨励賞をいただき、大変光栄に存じます。これからは作業療法士として、患者様の心の支えになりつつ、「その人らしい生活」を丁寧に引き出し、笑顔あふれる日常を共に創り上げていくことを目指していきたいです。誰もが自分らしく暮らせる社会づくりに貢献できるよう、日々研鑽を重ねていきたいと思っています。

皆さんの若い力と新しい発想が、千葉県の作業療法に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。

今後のご活躍を心より応援しています。

# 会員各位

# 一般社団法人 千葉県作業療法士会 役員選挙公報

【一般社団法人 千葉県作業療法士会 選挙管理委員会】

千葉県作業療法士会選挙管理規程第21条に基づく役員選挙について令和8年4月1日付で立候補を募りました。その結果、立候補者数が役員の数を満たさなかったため、選挙管理規程第21条第2項及び第3項により全員が無投票当選となります。  
選挙管理規程第12条により立候補者の意見表明を以下に原文掲示します。

## 監事 立候補者 2名

氏名	横山 誠治	氏名	土居 義典
勤務先	企業組合Weneed	勤務先	株式会社 総合リハビリ研究所
私は今、社会参加のリハビリテーションをしています。OTの能力が生かされる場所です。以前は老健で高齢者のリハビリテーションに携わり、機能訓練・ADLを主に行っていました。千葉県作業療法士会では認知症対策委員会として、市川市では市川市リハビリテーション協議会としての活動もしてきました。そして今、私は働きづらい人が働いていくための就業体験と雇用という中間就労が可能な企業で3人のOTと一緒に働いています。対象者は身体・発達・精神などの障がいを持っている人だけでなく、長年引きこもっていた方、高齢者、子育て中の女性などさまざまです。そのような人たちが働きやすい環境づくりをし、経験を積むと、今までもがもったないくらい輝いてきます。まさに社会参加であり、OTの効果が実感できる場です。皆さんがOTとしてやりたいことを、無理なく楽しく一緒に共有し、実現していきませんか？	この度、監事に立候補させていただきました土居義典と申します。私は訪問におけるリハビリテーション、職業リハビリテーションの2つを専門としております。千葉県作業療法士会においては理事を3期6年、また幹事を1期2年実施させていただきました。その間、地域包括支援に関わる部署、調査部、制度対策部において活動しました。また日本作業療法士協会制度対策部保険対策委員会介護保険班班長その後、委員長にて介護報酬における要望及び改定情報の集約等における業務も歴任しました。令和5年からは協会の理事として制度対策に関わる要望、交渉活動を述べ12年間実施しております。上記の内容から作業療法士の社会的地位向上を図るため制度要望の延長として政治活動へも範囲を広げ令和5年8月に千葉県作業療法士連盟を立ち上げ会長として政治家への要望活動を実施し、今後は監事としてサポートしたいと思っております。		

## 理事 立候補者 20名

氏名	岡野 朋子	氏名	勝俣 岳太
勤務先	浜野ホスピタル	勤務先	リニエ訪問看護ステーション船橋
この度、理事に立候補いたしました岡野朋子と申します。生まれ育った千葉に戻り、作業療法士として十数年勤める中で、千葉県作業療法士会の研修会や委員会活動を通して、多くの学びや支えをいただいております。身近にある県士会へのありがたさを、改めて実感しております。現在は、千葉県作業療法士会において、臨床教育委員会の担当理事・副委員長、老年期障害委員会担当理事を務めております。また、千葉中央ブロック委員、災害対策委員会委員としても、微力ながら活動しております。今後も、千葉県作業療法士会が会員のみなさまの支えとなり、それぞれの現場で安心して力を発揮していただけますよう、みなさまの声を大切にしながら、必要な学びの機会づくりや連携を深めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。	この度、千葉県作業療法士会の理事に立候補しました勝俣岳太です。前期は地域連携部 福祉用具対策委員担当理事として活動し、国際福祉機器展相談ブースへの出向、福祉用具相談支援システムアドバイザー業務、千葉県作業療法士学会へのブース出展、研修会の企画などを携わってまいりました。次期においても、引き続き地域連携部での活動を継続するとともに、ブロック活動部の活動にも参画し、千葉県作業療法士協会のさらなる発展に寄与できるよう、微力ながら尽力してまいります。		

氏名	兼子 健一	氏名	金平 智恵美
勤務先	千葉医療福祉専門学校	勤務先	八千代リハビリテーション学院
千葉医療福祉専門学校の兼子健一です。このたび、千葉県作業療法士会の理事に立候補いたしました。前任期では、副会長として福利厚生およびブロック活動を担当し、松尾会長のもと県士会運営を支えてまいりました。現在は、学生会員制度の創設に向けて準備を進めております。これまでの経験を活かし、学生を含めた会員の輪を広げ、県士会のさらなる発展に貢献してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。	この度、3期目の理事に立候補させていただきます。私は、病院や地域でのリハビリ、自助具工房・福祉用具開発支援など様々な分野の作業療法を経験した後、作業療法士の養成に携わり17年が経過いたしました。今期、私は理事として表彰委員会・調査部・東葛南部ブロック・選挙管理委員会と多岐にわたる会務に奔走してまいりました。また、本年3月には第27回千葉県作業療法士学会の学会長を務めさせていただき、皆様の多大なるご協力のおかげで、無事に大盛況で終えることができました。これらの経験を通じて、本会の持つ可能性と課題を肌で感じております。来期も、これまでの経験を活かし、千葉県作業療法士会がより活発になるよう、そして会員の皆様が『千葉県士会に入っていて良かった』と実感できる会を目指して、皆様と共に全力で邁進いたします。		

氏名	小池 靖子	氏名	五味 幸寛
勤務先	成田リハビリテーション病院	勤務先	国際医療福祉大学
令和8年理事に立候補いたしました成田リハビリテーション病院の小池靖子と申します。私はこれまで地域共生社会推進委員会、東総ブロック、運転支援検討委員会の活動および令和6年から理事として県士会の活動に取り組んで参りました。また、所属施設では臨床及び管理業務に加え、印旛圏地域リハ広域支援センター事業の業務に携わっております。その中で作業療法士の専門性の良さ、多職種と連携し課題解決に向けて一体的に取り組むことの良さを実感しております。これまでの経験を活かし、千葉県作業療法士会の活動や多職種連携、地域社会に根差した様々な取り組みに貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。	私は、県士会において平成30年度から代議員を、令和4年度から理事を務めております。現在は副会長を務めており、倫理委員会、渉外部、学術誌編集委員会に関わらせていただいております。これからも引き続き会員の技能の研鑽と作業療法士の社会的地位の向上に貢献したいと思い、再び理事に立候補いたしました。会員が千葉県様の様々な場所で活躍できるよう、努力していく所存です。		

# 会員各位

# 一般社団法人 千葉県作業療法士会 役員選挙公報

【一般社団法人 千葉県作業療法士会 選挙管理委員会】

氏名	関 美行	氏名	今野 和成
勤務先	リボン本八幡駅前校	勤務先	総合病院 国保旭中央病院
私は作業療法士養成校卒業後に千葉県内の精神科病院にて10年勤務、その後就労移行支援事業所にて10年勤務しております。現在は、就労を希望されている障害をお持ちの幅広い疾患の方に就労支援、地域の医療・福祉・教育関係者の方々に向けた障害者就労支援に関するご理解を深めていただくための活動等を行っております。 千葉県作業療法士会では、令和5年12月から市原青年矯正センターへも参加しております。その中で障害を持つ犯罪者に関わり、作業療法士が社会における役割を広げることの意義を強く感じました。今後、代議員として千葉県内における障害者への支援はもとより、それに付随して生活のしづらさを抱えている方に対する地域支援も県士会の立場で広げるために立候補いたしました。		この度、理事に立候補いたしました。総合病院 国保旭中央病院の今野和成です。急性期の総合病院に勤務し、現在は主に地域リハビリテーションや高次脳機能障害者支援などに携わっております。 県士会活動においては、令和2年度より理事を務め、令和4年度からは副会長として、組織運営、ブロック活動、地域連携、災害対策などに取り組んでまいりました。 令和8年度からも、これまでの経験を生かし、県士会活動をさらに活発で実りあるものにするよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。	

氏名	露崎 雄太	氏名	松尾 真輔
勤務先	おゆみの中央病院	勤務先	千葉県立保健医療大学
令和8年度、理事に立候補いたします。おゆみの中央病院作業療法士の露崎雄太と申します。 これまで県士会では、広報委員会担当理事、千葉中央ブロック担当理事として活動してまいりました。 次期は、 ・ホームページ刷新やSNS運用を通じた、会員に届く情報発信 ・行政、県民への作業療法の啓発普及 ・千葉中央ブロックでの顔の見える関係づくりと近隣ブロックとの連携 に力を入れ、会員にとって身近で参加しやすい県士会づくりに努めてまいります。引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。		今期、千葉県作業療法士会会長を務めてまいりました。この任期中に行政や他職種開催の様々なイベントや式典に出席させていただく中で、作業療法士会組織についてももちろんそうですが、まだまだ「作業療法」の認知度の低さを痛感しました。県士会は、県士会活動や県士会内外への効果的な情報の発信、また医療専門職団体としての役割を担うことなどが必要な組織です。改めて、これまで以上に、他都道府県県士会や協会、他の専門職団体、行政などの関わりある方々とも連携を強化し、地域社会作りによる作業療法士の視点を持って携わることが大切であり、社会的地位の向上にもつながるものと信じています。県士会員の皆様と共に「千葉県における作業療法」の更なる発展に取り組んでいきたいと考えております。引き続き微力ではありますが、お役に立てればと思います。立候補いたしました。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。	

氏名	袴田 龍一	氏名	安森 太一
勤務先	白金整形外科病院	勤務先	千葉県千葉リハビリテーションセンター
令和8年度理事選挙に立候補いたしました。袴田龍一と申します。白金整形外科病院地域リハビリテーション室に所属しております。これまで急性期・回復期病棟をはじめ、外来、通所、訪問リハビリテーションなど多様な分野で臨床経験を積んでまいりました。現在はそれらの経験を基盤に、地域におけるリハビリテーション活動に力を注いでおります。地域リハビリテーション広域支援センター業務に携わる中で、地域連携の重要性を再認識するとともに、作業療法士に対する期待の高まりを実感しております。地域に根ざした取り組みが、専門性と社会的価値の向上につながると考えております。これまでの経験を県士会活動に還元し、さらなる発展に寄与したいとの思いから立候補いたしました。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。		このたび、千葉県作業療法士会理事に立候補いたしました。千葉県千葉リハビリテーションセンターの安森太一と申します。 これまで運転支援検討委員会の委員長として、県内の作業療法士の皆様が安心して運転支援に取り組める体制づくりや、臨床現場で活用できる情報発信に努めてまいりました。 まだまだ微力ではございますが、これまでの経験を活かし、千葉県作業療法士会のさらなる発展に貢献できればと考えております。 会員の皆さまがより活動しやすく、学びやすく、そして地域に求められる作業療法を提供できるよう、誠実に取り組んでまいります。 どうぞよろしくお願い申し上げます。	

氏名	佐々木 海人	氏名	新田 恵太
勤務先	東京湾岸リハビリテーション病院	勤務先	ウェルビー株式会社
私は2013年に東京湾岸リハビリテーション病院へ入職し、回復期リハ病棟から生活期の通所・訪問リハビリテーションを経て、現在は通所リハビリテーションを主とした団体の事務局を主な業務としております。また、千葉県作業療法士会においては、令和6年度より理事を拝命し日々努めております。日常業務の関係で、現場の臨床からは離れていますが、通所リハビリテーション団体の事務局として、制度の流れを知る機会が非常に多く、複雑な介護保険制度についても深く理解し、その解釈に携わってまいりました。私はこの専門性と先見性を活かし、理想の生活期リハビリテーションの実現を強く志しながら日々の業務に精進しています。格別のご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。		私は専門学校卒業後、回復期リハビリテーション病棟で勤めた後、現在は就労移行支援事業所で利用者様の支援をしております。作業療法士の視点でその方ひとりひとりに沿った支援を心がけております。私は10年程、千葉県生活行為向上マネジメント推進委員会に所属しており、3年前より委員長を務めております。その中で千葉県の生活行為向上マネジメントの普及啓発に尽力してまいりました。医療と福祉の経験を活かし、千葉県の作業療法を盛り上げていきたいと立候補させていただきます。	

氏名	野口 晴康	氏名	有川 真弓
勤務先	五香病院	勤務先	千葉県立保健医療大学
この度、千葉県作業療法士会東葛北部代議員に立候補させていただきました野口晴康です。令和7年度まで、理事として教育部臨床実習指導者講習会委員会と現職者研修委員会、災害対策委員会、福利厚生部、東葛ブロック担当理事に携わらせて頂きました。新たに開始された生涯学習制度を運営委員の皆様のご協力を賜りながら、円滑な開催を目指しております。令和9年度からは後期研修を県士会での開催を行います。福利厚生部は令和6年度より再始動し、会員同士の交流の場として再開しました。今後は地域毎での交流の場を増やせればと思います。 東葛北部ブロックではブロック運営委員の皆様との連携を図りながら、ブロック運営の補助に携わらせていただいております。 引き続き、千葉県作業療法士会が今後も皆様の繋がりハブとして支えになる様、尽力して参ります。宜しくごお願い致します。		平成24年より千葉県立保健医療大学で作業療法士の養成教育に携わっています。平成28年度より千葉県作業療法士会の理事となり、また事務局長を仰せつかり、力不足ながら10年間活動を進めてまいりました。県士会がよりよい組織になるよう引き続き尽力したいと思い、立候補をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。	

# 会員各位

# 一般社団法人 千葉県作業療法士会 役員選挙公報

【一般社団法人 千葉県作業療法士会 選挙管理委員会】

氏名	水越 竜司	氏名	大本 竜馬
勤務先	季美の森リハビリテーション病院	勤務先	八千代リハビリテーション学院
<p>令和8年度理事に立候補させていただき季美の森リハビリテーション病院の水越竜司と申します。今回が初めての役員への挑戦となります。これまで臨床や千葉県士会の委員会活動を通じて、千葉県で働く作業療法士がより学びやすく、意見を共有しやすく、互いに支えあえる環境の必要性を強く感じてきました。作業療法士一人ひとりが専門性を発揮し、働き続けられるよう貢献していきたいと思っています。今後は、この活動を通じて千葉県の作業療法士の力を高める取り組みに尽力してまいります。微力ながら誠実に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。</p>		<p>令和8年度理事に立候補いたしました、八千代リハビリテーション学院の大本竜馬と申します。私は精神科臨床14年の経験を経て、現在は養成校で教鞭を執っております。これまでの臨床・地域の現場視点に加え、教員として向き合う学生たちの視点を士会運営に活かしたいと考え、今回理事に立候補いたしました。次世代の作業療法士たちが、そして今現場で働く作業療法士の皆様が、より誇りを持って活躍できる環境づくりに全力を尽くしてまいります。何卒よろしくお願申し上げます。</p>	

氏名	上原 秀幸	氏名	上村 尚美
勤務先	日本医科大学千葉北総病院	勤務先	亀田リハビリテーション病院
<p>この度、千葉県作業療法士会の理事に立候補しました上原秀幸と申します。所属は印西市にある日本医科大学千葉北総病院で急性期作業療法を中心に現在従事しています。立候補の趣旨および活動目標は以下の事項を主に取組みたいと考えております。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 会員同士のネットワーク強化と情報共有の促進 断続的機会のみならず、平時より顔の見える関係やシームレスな連携を行える環境づくりに尽力したく思います。</li><li>2. 研修会や勉強会の充実による専門性の向上 協会会員にとって大きな魅力の1つになり得る研修会・勉強会の充実を経て、専門性向上に寄与できる様な内容充実に努めます。</li><li>3. 若手作業療法士の育成とサポート体制の充実 『温故知新』をテーマに先人の先輩作業療法士の方々から続く良き伝統や文化を大切にしつつ、未来の作業療法士業界を担う若手作業療法士の方々の育成や研鑽の機会提供に尽力したいと思っております。 何卒、宜しくお願致します。</li></ol>		<p>亀田リハビリテーション病院の上村尚美と申します。私は、千葉県、そして自分が暮らすこの地域で、作業療法の魅力や力を、もっと多くの方々に感じていただけたらと思っています。県内で活動する作業療法士の皆さんとのつながりや連携を大切にしながら、日々の実践を共有し、作業を通して人々の暮らしや幸福につなげていきたいと考えています。また、現場で感じる課題を気軽に出し合い、前向きに話し合いながら、一緒により良い形を探っていけるような取組みに関わりたいと思ひ、理事に立候補いたしました。作業療法士同士の繋がりが、より身近なものになるように務めて参りたいと思ひます。</p>	

## 注目

会員のつながりをサポート

# 福利厚生部

## 部員大募集!

お待ちしております

**活動内容** 会員向けイベントの企画・運営  
・オンライン会議 2カ月に1回程度  
・イベント(懇親会、スポーツ等) 数回/年

**連絡先** 担当: 兼子 0439-55-4170  
千葉県医療福祉専門学校



お気軽にお問い合わせください。

千葉県作業療法士会

# 令和7年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 臨時総会の報告

去る3月20日（金・祝）10時より千葉県立保健医療大学B111教室にて令和7年度臨時総会が開催された。以下のとおり報告する。

1. 議案書の公開と質問の受付：議案書をホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を3月10日（火）まで受け付けたが、質問はなかった。
2. 総会当日、代議員36名（議決権行使書・委任状含む）が出席し、議長に植田代議員が選出され、第1号議案 令和8年度事業計画及び当初予算計画について審議され、賛成多数で可決承認された。

## 総会当日の質疑応答

### 1. 入会者の増加への対策について

意見：今後の活動を見据え、資金や人的リソースの配分について再考すべきである。そのためには会員の属性把握や組織率の向上が重要であり、特に働き世代にとって入会のメリットが実感できる施策が求められる。新卒作業療法士の初年度会費免除や、福利厚生面の充実などの取り組みが有効ではないか。

回答：重要な視点であり、現在理事会で検討を進めている。具体的には学生会員制度の設立を進めており、学生が賛助会員として参加し、早期から人や経験とのつながりを得られる環境づくりを目指している。学生の学会参加費無料化や、学生向けイベント・研修会の企画も検討中である。また、卒後に正会員へ移行する際の初年度会費免除についても検討しており、これらは6月総会での承認を目指している。知識・技術の向上に加え、人とのつながりや楽しさを感じられる魅力ある県士会づくりを進めていきたい。

### 2. 多様な会員の声を反映する参画の在り方について

意見：組織的な取り組みの必要性は理解しているが、県士会活動への参与にはハードルを感じる会員も多い。特に子育て世代では、生活背景を理由に参画が難しいケースがある。こうした会員の声を拾い上げるため、アドバイザーグループやヒアリンググループなど柔軟に意見を届けられる仕組みを設けることが有効ではないか。

回答：会員一人ひとりの生活背景を踏まえ、負担感に配慮しながら、会員に寄り添える組織となるよう検討していく。

### 3. その他の意見

将来的には、少ない現役世代で高齢者を支える社会構造が進み、保険内サービスだけでは対応しきれず、自費サービスの需要が増加すると考えられる。千葉県作業療法士会の会員は約1300名であるが、県内には未入会の作業療法士が多くいると推測される。一方で、会費未納による退会者も見られる現状がある。これらを踏まえ、資金の使途については引き続き十分な検討が必要であり、現状の運営資金は確保できているものの、一般社団法人として将来的な収益性のある事業展開についても検討していく必要がある。

全ての議案について承認され、11時45分閉会となった。

（千葉県立保健医療大学 有川真弓）

## 第27回千葉県作業療法士学会を終えて

千葉県作業療法士会  
学会委員会 委員長 須藤崇行

このたびは、第27回千葉県作業療法士学会の開催にあたり、多くの皆様にご参加・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。おかげさまで、本学会は盛会のうちに無事終了することができました。

本学会では、日々の臨床や研究、教育の実践に基づいた多彩な発表と活発な意見交換が行われ、千葉県における作業療法のさらなる発展につながる大変有意義な機会となりました。ご登壇いただいた演者の先生方、座長の皆様、ならびに準備・運営にご尽力いただいた関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

さて、学会開催時期の調整に伴い、次回の千葉県作業療法士学会は2027年9月に開催予定としております。詳細につきましては、今後あらためてご案内いたしますが、より多くの会員の皆様にご参加いただける学会となるよう、引き続き準備を進めてまいります。

今後とも、千葉県作業療法士会および学会活動への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 学会賞・奨励賞・わかばの力賞

#### 【学会賞】演題番号22

先天性サイトメガロウイルス感染症を呈した児に対し、MTDLPを用いた家族との協働により生活行為の質が向上した1事例  
千葉県千葉リハビリテーションセンター 作業療法科  
城倉 千瑛（じょうくら ちあき）

小児領域において、ご本人の意思とご家族の想いを汲み取りながら目標を一本化していくプロセスは、大変苦勞されたと推察いたします。MTDLPを利用し、対象児の好みと視覚提示の有効さの接点を組み合わせた介入は、作業療法士の専門性の高さを表しているものと感じました。小児領域でのMTDLP活用事例として、非常に勇気づけられる内容でした。

#### 【奨励賞】演題番号 18

母指中手骨基部骨折術後患者の術後早期から仕事復帰まで継続した介入の経験～作業遂行6因子分析ツールを用いて具体的な作業課題への段階的なアプローチを行った一事例～  
クオリアハンド株式会社オキュラポ  
森 優太（もり ゆうた）

単なる骨折の術後経過報告にとどまらず、作業療法の核心である「作業への深い理解」と「対象者への寄り添い」が体现されており、「ミット受け」という特殊な作業への探究心、OPAT6を使っでの「見えない情緒面」の可視化による信頼構築、作業と身体を繋ぐ「段階的アプローチ」の完成度について高く評価できる発表でした。

#### 【わかばの力賞】演題番号 4

利用者とする“作業のトリセツ”自己理解と目標設定への活用～就労移行支援における作業療法士の実践～  
株式会社アクト・デザイン 就労移行支援事業所 Pinto  
木盛 希美（きもり のぞみ）

作業療法士が人を多面的にみるためのツールとしてとても分かりやすい内容でした。何よりも大切なのは私たちがどうしたいのかではなく、対象者の方がどうなりたのかだという点も良く伝わり、それを共通のツールとして利用できるという点もとてもよかったです。



## 令和8年度第1回定時総会の開催について

令和8年度定時総会が以下の通りに開催されます。  
議決権を持つのは代議員のみですが、会員ならどなたでも聴講可能です。  
詳細は、ホームページでお知らせいたします。

開催日時：令和8年6月21日（日）  
開催場所：千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス B棟B111教室  
千葉県美浜区若葉2-10-1  
日 程：9：30 ～ 受付開始  
10：00 ～ 臨時総会

### 財務部より大切なお知らせです！！

#### ★★今年度の会費の自動引き落とし時期について★★

2026年度（令和7年度）会費の引き落としは、

**2026年6月8日（月）を予定しております。**  
**年会費は8000円です。**

残高不足に気づかず未納となってしまうことがありますので、  
口座残高の確認をお願いいたします。  
会費が1年間未納になりますと会員資格喪失となりますのでご注意ください。

#### ★★自動引き落としを利用していない会員様へ★★

2025年度（令和7年度）会費8000円を**2026年6月30日（火）**までに以下の口座へお振込みください。

また、年会費のお支払いは自動引き落としをお願いしております。口座振替依頼書の用紙をお送り致しますので、自動引き落としを利用していない方はホームページのお問い合わせフォームから会員番号、氏名、送付先郵便番号、住所をお知らせください。

#### ★★新規入会の場合★★

2026年度（令和8年度）より新規入会をご希望の方は、ホームページより入会手続きをしていただき、その後、下記の口座に9000円（入会金1000円、年会費8000円）をお振り込みください。9000円のお振込みが確認できましたら会員登録をし、事務局より入会案内を送らせていただきます。

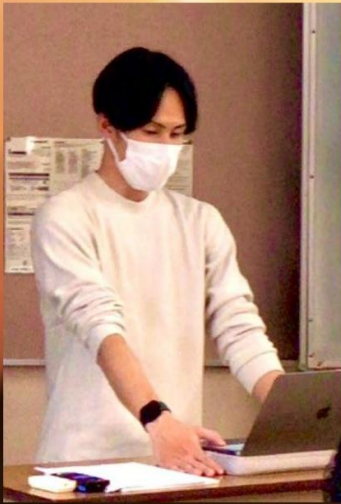
年会費お振込み口座 千葉銀行 蘇我支店 普通預金 3827235  
一般社団法人千葉県作業療法士会  
代表理事 松尾真輔

# MTDLP委員会からのお知らせ

## 2026年度年間予定

	基礎研修	実践研修
第1回	7月11日(土)	10月下旬
第2回	12月12日(土)	2027年3月中旬
形式	対面形式	オンライン(口頭試問)
時間	8:30～17:20	19:00～20:30

※予定となりますので、詳細は千葉県作業療法士会講習会案内ページにて随時掲載する内容をお確かめください



初めまして。生活行為向上マネジメント(以下MTDLP)委員会委員長の新田です。

MTDLPは【やりたい】と願う生活行為の実現に向けて、私たち作業療法士が専門性を最大限に発揮するための強力なツールです。単なるADLの向上だけでなく、その方ひとりひとりに寄り添うことを目指しています！

委員メンバーは「医療」「教育」「福祉」と様々な分野で活躍しております。その視点で皆さまの活躍の一助になれば幸いです！

是非、研修に参加いただければと思います。

お問い合わせ：千葉県作業療法士会 教育部 生活行為向上マネジメント委員会  
E-mail: [c.mtdlp.i@gmail.com](mailto:c.mtdlp.i@gmail.com)

# 回復期リハビリテーション病棟における改定 (1)

## 令和6年度 回復期リハビリテーション病棟 改定のポイント

- 1. 除外ルールの撤廃 & 実績指数へ算入**  
以前 (80歳以上, 認知症24点以下) × 現在 (全員算入, 認知症14点以下)  
高齢者・認知症患者を外さず、チームで支え結果を出す。
- 2. ボーナス得点 & 自立への誘導**  
6点ボーナス (見守り) vs 6点 (自立)  
少しの改善ではなく、介助なし状態を評価。
- 3. FIM評価の厳格化 & 研修受講の義務化**  
正確なジャッジを義務付け。年1回以上の研修受講。
- 4. 2週間に一回のモニタリング**  
スタート → 2W → 4W → 6W... → 退院  
後出しジャンケン終了。介入を変えて結果を出す。
- 5. 実績指数の計算**  
改善度×重み付けの複雑な計算へ進化。
- 6. リハ・栄養・口腔の三位一体**  
リハだけでは通用しない。チーム医療。
- 7. 業務の効率化：書類の一体化**  
「リハ・栄養・口腔」プラングをランチ書類をスリム化。患者さんに関わる時間を増やす。
- 8. 退院前訪問指導の充実**  
早期1回 直前1回  
安心できる生活のため、2回訪問可能。

**おわりに**  
1点は数字ではない。自分でトイレに行けた喜び、家族と同じ食卓、その人らしく暮らす一歩。専門性を発揮して、高齢者の可能性を信じよう。

図1：令和8年度 回復期リハビリテーション病棟 改正ポイント

## 1. 「80歳の壁」と「認知症の壁」の崩壊

これまでの実績指数では、80歳以上の高齢者や、認知症でFIM認知項目が24点以下の患者は計算対象から外すことができました。言い換えれば、点数が伸びにくい高齢者や認知症患者を、平均点の計算から外して現場を守る仕組みが残されていたということです。しかし、今回の改定でその前提は大きく崩れました。年齢による除外は撤廃され、認知症の除外基準も24点以下から14点以下へと大幅に厳格化されました。つまり今後は、これまで「対象外」にできていた高齢者や認知症患者の多くが、そのまま実績指数に入ってきます。「高齢者だから仕方な

い」「認知症があるから伸びにくい」という言い訳では、もう現場は守れません。これから問われるのは、条件の悪い患者を外して数字を整えるのではなく、高齢者を含めて、どう結果を出すかです。点数が伸びにくい患者ほど、早い段階で変化を見抜き、介入内容を修正し、チームで支えていく力が必要になります。もう、除外ルールに助けられる時代ではありません。高齢者を診る以上、「伸びにくいのは当然」で終わる現場は通用しない。それが今回の改定の厳しさです。

## 回復期リハビリテーション病棟における改定 (2)

### 2. 評価を分ける「自立へのボーナス得点」

点数を上げるだけでは足りない。高齢者を「介助から卒業させたか」が問われる今回の改定で最も注目すべきなのは、単にFIMの点数を上げればよいという考え方ではなく、高齢者を本当に介助から離脱させることができたのかが、これまで以上に重視されるようになった点です。特に、トイレ動作・歩行・車いすといった生活の自立に直結する項目では、5点から6点へ改善した場合に、実績指数の計算でボーナス得点が付与される仕組みが導入されました。このボーナス得点が示している国の狙いは明確です。それは、「少し点数が上がった」ことではなく、「見守りや声かけが必要な状態から、介助なしでできる状態まで高齢者を引き上げたか」を評

価するということです。つまり国が見ているのは、訓練場面での改善や一時的な点数の上昇ではありません。高齢者が実際の生活場面でどこまで自立できるようになったのか、介助の手が本当に外れたのかです。5点から6点への変化に加点をつけたのは、まさにそこに最も大きな意味があると考えているからです。これまでのように、「点数は少し上がった」「動作は前より良くなった」で満足するだけでは不十分です。高齢者リハでこれから求められるのは、介助量を減らし、現場で本当に「できる」状態まで持っていくことです。ボーナス得点の付与は、その方向へ現場を強く誘導するメッセージだといえます。

### 3. FIM評価の「制度管理」と研修受講の義務化

これまでFIMは、いわば「自己採点」のような部分がありました。しかし、今回の改定からは「採点基準をしっかりと勉強した人だけが評価してください。」というルールに変わったんです。正確にジャッジすることを国が義務付けた、ということです。なので、年に1回以上開催することが要件化されています。



## 回復期リハビリテーション病棟における改定（3）

### 4. 「2週間に一回」のモニタリング：後出しジャンケンの終了

2026年度からは、FIMを入院時と退院時だけでなく、2週間に1回の頻度で継続して確認し、結果を次の介入に反映させることが不可欠になります。高齢者では、身体機能や認知機能、体調の変動によってADLが大きく揺れやすく、思うように点数が伸びないことも少なくありません。しかし、年齢や認知症を理由に除外できなくなった今、「高齢だから仕方ない」「認知症だから伸びにくい」で済ませることはできません。退院直前になってからFIMを見返して、「思ったより上がっていなかった」と気付いても、もう遅いです。その時点では、実績指数を立て直す余地はほとんどありません。つまり、退院前の結果だけを

見るやり方では、現場は守れないということです。これから必要なのは、2週間ごとのFIMを単なる提出用の記録で終わらせず、今の介入で本当に点数が動いているのかを見極めるための指標として使うことです。伸びが鈍ければ、訓練内容、関わり方、ゴール設定、チームでの共有まで含めて、すぐに見直さなければなりません。2024年改定の時点でも2週間に1回のFIM測定は求められていましたが、当時はまだ「記録しておくこと」に重きがありました。2026年度からは違います。測っているだけ、書いているだけ、様子を見ているだけでは足りません。結果が出ていなければ、介入を変えていない現場の責任がそのまま問われる時代になります。

### 5. 「利得」の計算がより戦略的に

これまでの実績指数は、単純な「引き算」を日数で割るだけでした。しかし、2026年からは、「どの項目が自立したか」によって重み付けが変わる、非常に複雑な計算式へと進化しています。

※実績指数 =  $\Sigma$ （各項目の改善度 × 重み付け係数） / 在院日数比率

### 6. リハ・栄養・口腔の「三位一体」

「リハビリだけ頑張る」時代は終わった。高齢者リハは、栄養・口腔まで見なければ結果が出ない今回の改定で明確になったのは、高齢者に対して、リハビリだけを一生懸命行えばよいという時代はもう終わったということです。栄養状態が悪く、口腔ケアも不十分なままりハビリを続けても、効果が出にくいだけではありません。それはもう、「非効率な介入」とみなされるようになりました。特に高齢者では、低栄養や口腔機能の低下が、筋力や活動量、ADLの改善を大きく妨げます。どれだけ訓練内容を工夫しても、土台となる栄養と口腔の状態が整って

いなければ、思うような成果にはつながりません。そのため今回の改定では、入院後48時間以内の栄養チェックに加え、多職種による口腔評価との連携が、入院料の前提条件として位置づけられました。これはつまり、高齢者リハの成果はセラピストだけでは完結せず、栄養・口腔を含めたチーム対応までできて初めて評価されるということです。もう、訓練だけ頑張っているという考え方では通用しません。高齢者を本当に良くしたいなら、動作だけでなく、食べる力や口腔の状態まで見て介入につなげることが必要。今回の改定は、その現実をはっきり突きつけています

## 回復期リハビリテーション病棟における改定（3）

### 7. 業務の効率化：書類の「一体化」と簡素化

これだけの変化に対応するため、書類業務のスリム化も進んでいます。これまで別々だった「リハ・栄養・口腔」の計画書を一様式にまとめることが可能になりました。2度手間の業務作業を減らし、「より患者さんのそばにいる時間」を増やすことが推奨されています。

### 8. 「生活の質」を確実にする退院前訪問の充実

退院後の生活をより確実なものにするため、これまで原則1回だった「退院前訪問指導料」が2回まで算定可能となりました。1回目（早期）は設置した手すりの確認や最終的な介助指導をご家族と行う。2回目（直前）は、「点数のため」ではなく、「本当に安心できる生活」のために、私たちの足を外へ運ぶことが正当に評価されるようになりました。

## おわりに

今回お伝えした内容が改定のすべてではありませんが、数字のルールが厳しくなったことだけを見ると、現場にとっては負担が増えたように感じられるかもしれません。しかし、その本質は単なる厳格化ではなく、高齢者を含め、どのような背景を持つ患者さんであっても見捨てることなく、その人なりの最大限の改善を目指してほしいという、国からの強いメッセージだといえます。高齢者だから難しい、認知症があるから伸びにくい、そうした理由で可能性を狭めるのではなく、最後まで力を引き出すことが、これからのリハビリにより強く求められています。FIMの1点は、ただの数字ではありません。

それは、高齢者にとっての「自分でトイレに行けた喜び」「家族と同じ食卓を囲める時間」「もう一度、その人らしく暮らすための一歩」です。だからこそ私たちは、点数そのものを追うのではなく、その先にある生活や人生を見据えて関わるのが大切です。今回の改定は、私たちに負担だけを求めているのではなく、高齢者の可能性を信じて専門性を発揮してほしいという期待でもあります。数字が厳しくなった今こそ、患者さんの暮らしに本当に意味のある変化を生み出すこと。そこに、私たちの専門性の原点があるのだと思います。

# Activity Report

## #1.精神障害委員会

### 「作業に焦点を当てた精神科作業療法」開催報告

2026年2月15日に精神障害療法委員会では、秋津鴻池病院の木納潤一先生をお招きし、「作業に焦点を当てた精神科作業療法」をテーマにオンライン研修会を開催しましたので以下に報告します。

#### ■「作業」の本質を捉える

講義の前半は、作業療法の根幹である「作業」と「活動」の違いや、作業が持つ意味についての解説から始まりました。現在のOT業界の潮流や臨床現場の動向をふまえ、「作業は“生活そのものを動かす力”である」という言葉を軸に、なぜ今「意味のある作業」が注目されているのかを分かりやすく示していただきました。

#### ■CMOP-Eを用いた対象者理解

研修の中での具体的な評価手法については、カナダ作業遂行測定（COPM）からさらに発展させ、「作業遂行と結びつきのカナダモデル（CMOP-E）」について深掘りしました。やや難しいというイメージを持たれがちなCMOP-Eですが、講師ご自身の「ジムに通う」という作業をモデル図に当てはめた解説により、とてもわかりやすく理解することができました。対象者にとっての作業の側面や、その背後にあるスピリチュアリティ（精神性）を可視化できるこのモデルは、精神科領域のみならず、身体障害や小児などあらゆる領域で活用できる有用な視点であると考えられました。

#### ■グループディスカッション（60分）

中盤のグループディスカッションでは、計6グループに分かれて「作業に焦点を当てた関わり」について意見を交わしました。精神科以外の領域からも多くの参加があり、それぞれの臨床現場でどのように「作業」を活かしていくか、活発な議論が展開されました。

#### ■明日からの臨床に向けて

後半は、事例を通じたCMOP-Eの活用、およびそれに基づいた作業療法の立案・評価についての説明がありました。意味のある作業の評価としてCOPMは非常に有用ですが、CMOP-Eを併用することで「作業と人」のつながりをより深く捉えることができると感じました。まさにOTらしいアプローチであると改めて実感する機会となりました。本研修で得た学びを、明日からの臨床業務に活かしていきたいと思える、非常に充実した時間となりました。



# Activity Report

## #2.福祉用具対策委員会

### 千葉県作業療法士学会における福祉用具委員会ブース出展報告

去る2025年3月8日、八千代リハビリテーション学院にて開催された「第27回 千葉県作業療法士学会」において、福祉用具対策委員会による福祉用具体験ブースを出展しました。当初の予測を大幅に上回る作業療法士にご来場いただき、終始にぎやかで来場者・委員・メーカーさんや貸与事業所さんたちの笑顔に包まれたまま無事に終了いたしました。

今回の出展では、単なる福祉用具の展示に留まらず、「見て、触れて、体験し、実感する」をコンセプトに、最新のセニアカー・電動車いす・特殊寝台やベッドテーブル・リフト、コミュニケーションロボットなどを中心に、体験型ディスプレイを展開いたしました。多くの作業療法士が足を運んでくださり、一時はセニアカーや電動車いすの走行スペースが確保できないくらいの活況を呈しました。作業療法士が集う学会という場ということもあり、来場者の皆さまの福祉用具への関心は非常に高く、実際に用具を操作しながら熱心にメモを取る姿や、現場での具体的な活用場面を想定した意見交換が飛び交うなど、ブース内では常に活発なコミュニケーションが行われていました。

コミュニケーションロボットのコーナーでは来場者の笑顔がはじけ、セニアカーや電動車いす、特殊寝台やベッドテーブル等の体験コーナーでは、「カタログスペックだけでは分からなかった操作性の良さに驚いた」「これなら現場の負担を軽減できる」「対象者のADLスキルの促進に活用できそう」といった、対象者や支援者の視点に立ったポジティブな感想が多く聞かれました。直接対話を通じて得られたこれらの生の声は、作業療法士が臨床で直面している困りごとや対象者を支援する気持ちを再認識する機会となりました。

今回の出展で多くの作業療法士の皆さまにご来場いただけたのは、皆さまの知的好奇心はもとより、福祉用具貸与事業所さん、メーカーさん、委員会の皆さま、その他関係各位の尽力があったからこそと深く感謝しております。この学会で得られた多くのご縁と貴重な知見を、今後の委員会活動や地域への貢献へと繋げていく所存です。

次回以降も是非ご期待ください。またのご来場をお待ちしております！



# Activity Report

#3.千葉中央ブロック委員会

## 千葉中央ブロック委員募集および活動予定のご案内

### 【千葉中央ブロック委員 募集のご案内】



現在、当ブロックでは様々な領域で活躍する12名のブロック委員が在籍しています。近年では、千葉市健康づくり大会への参画や、第26回千葉県作業療法士学会の運営、研修・交流会の開催などを行いました。職場の垣根を越えた顔の見える関係づくりや、職能を通じた市民や他職種の方と繋がる機会を得られることは何よりのやりがいです。ぜひ私たちと一緒に、活動してみませんか？

■応募条件：千葉中央ブロック（千葉市・茂原市・東金市・勝浦市・山武市・いすみ市・大網白里市・山武郡九十九里町・芝山町・横芝光町・長生郡一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町・夷隅郡大多喜町・御宿町）に在勤または在住の県士会会員

■応募方法：氏名、所属、経験年数、ブロック委員で取り組みたいことや応募動機等を添えて、下記アドレスまでご応募ください。

千葉県作業療法士会 千葉中央ブロック 【[Chibacyuou.ot@gmail.com](mailto:Chibacyuou.ot@gmail.com)】



### R8年度 千葉中央ブロック活動予定

時期	内容
6月	東総ブロックとの合同研修会開催
9月	千葉県作業療法士会安否確認訓練への参加
その他	千葉市健康づくり大会ブース出展
	第8回 研修会・交流会開催
	千葉市リハビリテーション連絡会への参画
	千葉中央ブロックLINEオープンチャットの継続運用
	ブロック活動の見える化の推進

R8年度も、ブロック部としての活動のあり方を模索しながら  
①顔の見える関係づくりの促進、  
②地域イベントへの参加  
③他団体との連携および参画などを企画しています。  
今後の詳細については、随時千葉県作業療法士会のニュースやHP、各種SNS等にて広報していきますので、ぜひご確認ください。

# Activity Report

## 【LINEオープンチャットのご案内】

千葉中央ブロックでは、

- ・作業療法士（OTR）や作業療法養成校の学生（OTS）が気軽に相談しあえる場所がほしい
- ・少人数で日々の活動に取り組むOTRを応援したい

という想いのもと

「LINEオープンチャット」を運営しています。

皆様と研修会やイベントの情報を共有しながら、気軽に交流して頂ければ嬉しいです。  
ぜひ、添付画像のQRコードよりご登録ください。お待ちしております。



The poster features a green background with white text. At the top, it reads '千葉中央ブロック Lineオープンチャット'. Below this, there are three bullet points in green diamonds. To the right of the text is a map of Chiba Prefecture with the central block highlighted in red. At the bottom left is a QR code with a small circular icon overlaid on it. To the right of the QR code is a list of six numbered steps in Japanese.

千葉中央ブロック  
Lineオープンチャット

- ◆ 千葉中央ブロックのOTRも学生も一緒に、気軽に相談しあえる場が欲しい
- ◆ 少人数で取り組むOTRを応援したい
- ◆ 交流会や研修会などの情報を共有したい

①QRコードでアクセス  
②ニックネーム欄に入力「つながりたい分野+お名前」  
③参加をタップ  
④承認を待つ  
⑤トークで挨拶&参加  
⑥千葉中央ブロックの知り合いを招待する

# 新人研修会

1~3年目

学びと出会いが

対象

あなたの成長を加速させる

新人OT、大集合！

- ✓ キャリア形成について考えよう！
- ✓ 生涯学修制度について知ろう！
- ✓ 千葉県作業療法士会へ



地域に根ざして、広がる  
仲間とつながって、学ぶ

懇親会もあるよ



日にち 2026年 6月 13日 土

時間 15:30~17:30

場所 千葉市生涯学習センター

千葉市中央区弁天3-7-7

申込み QRコードより

申込期限：6月5日（金） ※定員に達し次第、締め切ります。

問合せ

兼子 0439-55-4170 担当：福利厚生部  
千葉医療福祉専門学校 野口 内田 兼子



## 懇親会情報

日時 18:00~20:30 頃

参加費 4,500円 500円補助あり  
【事前振込制】

場所 千葉駅周辺

参加申し込み者に後日お伝えします。

・振込先は、お申し込み後にご案内いたします。  
・当日は、500円を現金で補助いたします。

## 令和8年度 第1回臨床実習指導者講習会

【日程】2026年 7月25日（土）～7月26日（日）

【開催方法】対面開催

【場所】千葉西総合病院

【定員】30名

<実務経験4年を満了した（5年目以上の）作業療法士。千葉県士会員優先。定員を超えた場合には、同一施設からの申し込み者数の調整後に抽選>

\*申し込みが12名未満の場合は中止となります。中止の際は申し込み締め切り後に再度ご連絡させていただきます。

【受講料】

(千葉県士会へのお支払い)

千葉県士会員：5,000円

他都道府県士会員：8,000円

非会員：17,000円

※抽選後、受講可となった方へ、お支払い方法についてご案内いたします。

(OT協会へのお支払い(別途))

修了証発行等手数料：500円

【申し込み】

2026年5月1日（金）～2026年5月23日（土）17時まで

下記URL、添付PDFのQRコードから

お申し込みください。

URL：<https://forms.gle/8fwezZnP9xXMsdz9A>



## 千葉中央×東総ブロック合同研修会

■日時：2026年6月27日（土）10:00～14:30（受付9:30～）

■会場：国際医療福祉大学 成田キャンパス（対面開催）

■内容：各講師による各病期別のミニレクチャーとグループワークによる事例検討

■講師

・急性期：児玉 広賢 氏（千葉県循環器病センター）

・回復期：藤木 彰人 氏（イムス佐原リハビリテーション病院）

・生活期：田染 真一 氏（印西総合病院）

■参加費（研修会費＋昼食代）

・千葉県OT士会会員：1,500円

・他OT士会会員／他職種：1,500円

・非会員：8,000円

・学生：無料

※昼食（お弁当）をご用意いたします

※当日現地支払い

■申込方法

ポスター掲載のQRコード、または以下のURLよりお申込みください

<申し込み府フォーム>

<https://forms.gle/vF6basqq8TpQwzCT8>

■申込締切

2026年6月14日（日）





# 理事会報告

## 2025年度第9回理事会

2025年12月17日（水） 19:00～21:00

千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾、兼子、今野、五味、有川、岡野、勝俣、金平、小池、古城、坂田、  
佐々木海、佐々木啓、須藤、関、多田、露崎、野口、袴田、横山 計20名

### 【検討事項】

1. 次期千葉県障害者計画策定に係る意見聴取について  
⇒本日までの意見をまとめて提出【承認】。
2. 役員選挙に向けた次期体制の確認について  
⇒候補届出1/4締切。選挙後に検討継続【継続審議】。
3. 組織図の改正案について  
⇒統合、廃止、名称変更、役割について検討【継続審議】。
4. 来年度の予算について  
⇒1/9までに、各部署の来年度活動案と予算案を提出【承認】。
5. その他
  - ・情報共有等について  
⇒非営利団体向けのGoogle Workspaceの利用について検討を行う【継続審議】。
  - ・行政と連携について  
⇒来年度から行政への挨拶回りでは、会長だけでなく理事も関与していく【継続審議】。
  - ・県立姉崎高校「リハ専門職に関する体験授業」について  
⇒企画委員会、南総ブロック、広報委員会へ対応【承認】。
  - ・こども連携委員会  
⇒人材登録バンクの開始【承認】。
  - ・学会委員会  
⇒次学会より秋開催 第28回千葉県作業療法士学会 2027年9月開催【承認】。  
学会運営のブロック持ち回り制は第27回千葉県作業療法士学会で終了し、仕組みを改善する【承認】。

### 【報告事項】

1. 千葉県医師会新年会、鎮誠会主催式典への出席について  
⇒松尾会長が出席予定。
2. 千葉県歯科衛生士会45周年記念式典について  
⇒松尾会長が出席。本会50周年に向けた準備の参考になった。
3. 千葉リハ専門職協会への士会拠出金について  
⇒三士会が会員数の按分に基づき拠出。本会は132,000円を拠出した。
4. 各部署委員会の活動報告
  - ・司法作業療法委員会  
⇒11/25 市原青年矯正センター見学会開催 会員13名参加。
  - 2/7 ハイブリッド研修会（市原青年矯正センターの概要、OTの関わり等）開催予定。
  - ・学会委員会  
⇒抄録は年内配送の段取りで進めている。事前登録受付中（2/14締切）。参加費の支払いはPeatix推奨。第28回学会以降の学会運営は各ブロックから2-3名程度選出する形式で準備を進める。
  - ・企画委員会  
⇒11/15 八千代リハビリテーション学院の学園祭にブース出展（缶バッジWS） 150個作成。
  - ・臨床実習指導者講習会  
⇒1/24-25 第3回臨床実習指導者講習会 参加予定27名。第2回講習会アンケートより、対面開催は、ベテランOTや対話を深めたいOTのニーズに合っていることが分かった。
  - ・運転支援検討委員会  
⇒運転情報交換会、イベントにおける運転相談、認知機能チェックに参加。君津・市原圏域での情報交換会について日立ケアシステムに依頼。高次脳機能障害ネットワークに委員長が参加。
  - ・災害対策委員会  
⇒安否確認訓練（9/25） まめーる登録者を対象に実施、回答率36.9%。九都府県市合同防災訓練は連携という面で非常に有意義であった。防災フェア（館山市）に出展し、自助具展示など作業療法の啓発活動を実施。2/15に研修会（POS三士会の災害対策委員会合同開催）を開催予定。会場は県立保健医療大学（幕張）。
  - ・福祉用具委員会  
⇒1/25 研修会予定（スイッチや視線で入力するICT機器について） 会場は八千代リハビリ学院。
  - ・東総ブロック  
⇒12/5 意見交換会（通いの場について、OTの市町村配置）、市町村の方、行政の方など41名参加。
  - ・南総ブロック  
⇒リハケア文化祭（亀田総合病院）に県士会としてブース出展。
  - ・千葉中央ブロック  
⇒1/31 研修会（ユニバーサルホスピスマインド）、懇親会開催予定。
  - ・広報委員会  
⇒まめーる研修会案内配信依頼は、広報委員会メールアドレスに直接依頼すること。
  - ・ブロック部  
⇒12/10 学会委員会との合同会議実施し、学会運営に関する情報交換を行った。
  - ・その他  
⇒千葉県リハビリテーション専門職検討委員会 通称「千葉POS」となった。

### 【確認事項】

次回理事会 1/20（火） 19:00～ 会議



# 理事会報告

## 2025年度第10回理事会

2026年1月20日（火） 19:00～21:00

千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾 兼子 今野 五味 有川 岡野 勝俣 金平 小池 坂田 佐々木海 佐々木啓  
須藤 関 露崎 袴田 横山 計17名

### 【検討事項】

1. 令和7年度臨時総会（3月開催）について  
⇒ 議案書と予算案【確認】。ブロック合同の研修の場合、収入や経費はどちらかにまとめると分かりやすくなる【助言】。
2. OneDriveに関するセキュリティについて  
⇒ ログイン時のトラブル、セキュリティ上の問題等の指摘あり。他のシステムへの変更も含めて検討【継続審議】。
3. 臨床実習指導者講習会委員会の名称変更について  
⇒ 臨床実習指導だけでなく、幅広く臨床教育全般に方向性から「臨床教育委員会」への名称変更を総会に提出【承認】。
4. 代議員および理事選挙について  
⇒ 代議員選挙40名の立候補があった。宣伝文はHPに掲載する。定数41名未満のため、無投票当選となる【承認】。
5. 学生会員規程、賛助会員規程改定、学生会員運用マニュアル案について  
⇒ 学生を対象とした学生会員制度を新設することで新規正会員の獲得へ。記載内容、学生特典等の検討【継続審議】。
6. 千葉POSより  
⇒ 令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰及び厚生労働大臣表彰の候補者推薦依頼。  
職員処遇改善や人材育成、介護現場の生産性向上の取組に特に優れた介護事業者を表彰。今回見送り【承認】。

### 【報告事項】

1. 医師会新年会出席報告について ⇒ 1/10 京成ミラマーレで開催され、松尾会長が出席した。
2. 鎮誠会シンポジウム出席報告について ⇒ 12/21 松尾会長が出席し、鎮誠会の活動報告を聴講した。
3. 各部局委員会報告について
  - ・ 渉外部 ⇒ 精神保健福祉協議会から「心の健康フェア2026」実行委員の派遣依頼あり。今年度は辻本氏が継続担当。
  - ・ 福祉用具委員会 ⇒ 「生活行為工夫事業」に関するアンケートを実施したものの、回答率は低調であった。今後は本事業の周知・PRの強化が必要である。
  - ・ 広報部 ⇒ 松尾会長へのインタビュー動画の編集を外部へ委託する。委託費は約5万円の見込み。
  - ・ MTDLP委員会 ⇒ 全国会議において柴田氏が発表予定。事例検討会予定（2/13）。
  - ・ 福利厚生部 ⇒ 学会後の懇親会を八千代台駅周辺で行う予定。1～3年目は参加費補助あり。
  - ・ 企画委員会 ⇒ 1/29 県立姉崎高校「リハ専門職に関する体験授業」（千葉医療福祉専門学校）に県士会ブース出展（南総ブロック、広報委員会と協同）。その後、4年生に対して県士会を説明する場を設ける。
  - ・ こども連携委員会 ⇒ 1/10 関東小児発達委員会OT交流会開催。詳細は県士会ニュースに掲載。  
1/16 OT協会主催の教育領域意見交換会参加。  
2/7 こども連携委員会主催の交流会を予定。
  - ・ 学会委員会 ⇒ 参加締切が例年より早い。参加予定者は早めの対応を。
  - ・ 司法作業療法特設委員会 ⇒ 3月に開催されるOT協会主催司法領域意見交換会にて、本土会へ実践報告の依頼あり。

### 【確認事項】

次回理事会 2/18（木） 19:00～



# 理事会報告

## 2025年度第11回理事会

2026年2月18日（水） 19:00～21:06

千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾 兼子 今野 有川 金平 小池 古城 坂田 佐々木海 佐々木啓 須藤 関 多田  
露崎 土居 野口 袴田 計17名

### 【検討事項】

- 令和7年度臨時総会（3月開催）について  
⇒ 予算について税理士による精査実施、財務状況改善【情報共有】。部局数、組織編成について【継続審議】。
- 入学式（式典）の出席依頼について  
⇒ 八千代リハ（4/1多田理事）、千葉医療（4/3露崎理事）、千葉県立保健医療大学（4/6袴田理事）、国際医療福祉大学（4/12小池理事）【決定】
- よんぱち（2/28）について ⇒ 松尾会長・兼子副会長出席予定【確認】
- 今年度の「奨励賞」の推薦者について ⇒ 各養成校から1名ずつ、候補者が挙がっている【承認】。
- 学生会員説明資料について  
⇒ 養成校と臨床現場の橋渡しとして学生会員を推奨する。対象は県内の養成校に在籍している学生。資料の写真は再検討。6月総会で学生会員規程、賛助会員規程の改定等の承認を得られるように準備を進める【継続審議】。
- その他 休会の承認について ⇒ 16名中、1名は未納により対象外、1名は退会、1名を休会とする【承認】。

### 【報告事項】

- R7年度OT協会生涯教育推進担当者会議について（参加報告）  
⇒ 新制度に移行し、旧制度からの読み替えが開始している。「登録OT」への作業を進めて欲しい。研修10テーマのうち4テーマは県士会で実施する（講師、ファシリテーター要件あり）。R9年度開始に向けて準備。
- 各部局委員会報告について
  - 司法作業療法特設委員会 ⇒ 2/7 研修会実施 オンライン29名、対面6名参加。「市原青年矯正センターの概況と作業療法士のかかわりについて」（講師：市原青年矯正センターの職員）。おおむね好評であった。
  - 臨床実習指導者講習会委員会 ⇒ 第3回目の講習会をオンラインで開催。26名参加、全員修了予定。
  - 広報部 ⇒ まめーる、およびLINEでの依頼は、露崎理事ではなく広報委員会宛とする。ジンバルを購入したので、使用を希望する部署は広報委員会へ連絡すること。
  - 企画委員会 ⇒ 1/29 県立姉崎高校「リハ専門職に関する体験授業」（千葉医療福祉専門学校）に県士会ブース出展。多くの生徒が参加し大変盛り上がった。千葉医療福祉専門学校4年生に県士会の説明も行った。
  - MTDLP委員会 ⇒ 事例検討会を実施。発表者1、聴講者6名。事例登録方法について高い関心が示された。
  - 学会委員会 ⇒ 事前参加申込は220名で締め切った。オンデマンド配信は2/22より開始予定である。当日の受付はPeatixのみで対応する。懇親会は八千代台周辺で実施し、参加費は事前集金とする。
  - こども連携委員会 ⇒ 2/7 交流会「研究×教育×臨床のクロストーク」を開催。23名が参加し、大変好評であった。
  - 発達障害委員会 ⇒ 2/8にオンライン研修会開催。87名参加（他都道府県士会7割程度）。

### 【確認事項】

- 杉原素子先生 ⇒ 2/5 ご逝去 5/3 鈴木明子先生と合同で偲ぶ会開催予定。
- 千葉POS田中会長より  
⇒ スポーツ庁から地域部活に関わっているOTに関する問合せあり。情報は露崎理事へ報告。
- 次期県士会役員体制について ⇒ 3月理事会で検討。

### 【確認事項】

- 3/24 南関東ブロック学会キックオフミーティング開催予定。
- 各部局は、会計締め作業と提出をすること。

次回理事会 3/11（水） 19:00～



# 広報委員会からのお知らせ

## ✕(エックス) はじめました！！

多くの皆様に当士会のことを知ってほしい！

そんな思いから、2026年4月1日に  
千葉県作業療法士会 公式Xアカウントを  
開設しました！

研修会情報や士会からのお知らせはもちろん、  
千葉県OT士会の魅力をお届けしていきます。

「こんな活動をしているんだ」  
「この研修、参加してみたい」  
「千葉のOT、ちょっと気になる！」



そんなきっかけになるよう、  
広報委員会も楽しみながら発信していきます。

みなさま、ぜひフォローをお願いいたします♪

いいね・リポストでの応援も大歓迎です！

研修会情報・士会活動・千葉県OTの魅力を発信中！



千葉県作業療法士会広報 X

@ChibaOT\_Kouhou

フォローはこちらから！



## M@mail (まめーる) 登録のご案内

災害時の県士会からのお知らせや皆様の安否確認、研修会情報の配信  
などを行っています。現在、554名の会員の皆様にご登録いただいています。  
まだ登録されていない方は、右のQRまたは、下記メールアドレスに空メールを  
お送りください。皆様のご登録をお待ちしています！！

[caot\\_iha0006@mamail.com](mailto:caot_iha0006@mamail.com)



## LINE公式アカウント登録のご案内

月2回を目安に、研修会情報や県士会からのご案内などを配信しています。  
現在368名の方にご登録いただいています。  
ぜひ、ご登録をおねがいします！

@442xxhdx

うれしい情報をLINEでお届け！

